

国際シンポジウム

次世代の大学院教育 — 日米両国における大学院教育改革 —

INTERNATIONAL SYMPOSIUM: The Reform of Graduate Education in the USA and Japan

教育関係共同利用拠点提供プログラム：教育内容・カリキュラム論 [L-03]，教育マネジメント [M-03] / Series 5：大学のカリキュラム

2012 年 **3 月 19 日** (月) 13:00 ~ 17:20

東北大学マルチメディア教育研究棟 (川内北キャンパス) 6 階ホール

March 19th, 13:00~ at Kawauchi Campus, Multimedia Education and Research Complex 6F Hall



同時通訳 (日本語／英語)
Simultaneous translation
(English & Japanese)

講演 1 アメリカにおける大学院博士課程教育の改革

The Reform of Graduate Education in the USA

ダニエル・デネッケ (全米大学院協会准副代表)

Daniel Denecke (Associate Vice President, Council of Graduate Schools)

講演 2 日本における大学院博士課程教育の改革

The Reform of Graduate Education in Japan

樋口 聡 (文科省高等教育局大学振興課大学改革推進室長)

Akira Higuchi (Director, Office for University Reform, Higher Education Bureau, MEXT
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology JAPAN)

懇親会
Post-event
Gathering

時間：17:30～19:30 会場：マルチメディア教育研究棟 6 階ロビー 会費：¥ 3,000
Time: 17:30～19:30 Place: Multimedia Edu. & Research Complex 6F Lobby Fee: ¥ 3,000

知識基盤社会においては、各分野に創造的人材を供給する大学院博士課程教育が大きな役割を果たします。日本では 90 年代に大学院重点化が推進されましたが、社会の各分野の人材需要と大きなミスマッチがあり、その改革が長年の課題となっています。我が国の大学院博士課程は、あまりにもアカデミック重視といわれますが、主な就職先として想定されてきた大学教員に必要な能力さえ、十分な訓練が行われていないのが実情ではないでしょうか。

ところで、アメリカでも同様な問題があり、90 年代から学位取得向上プログラム等様々な博士課程教育改革が行われてきました。日本の大学院教育改革も、大学院の大衆化がいち早く進んできたアメリカの動向をふまえて、戦略的に進められる必要があります。おりしも、2011 年に中教審答申『グローバル化社会の大学院教育』が公表され、大学院教育の実質が厳しく問われる第 2 ラウンドが始まろうとしています。

東北大学では、アメリカ大学院協会准副代表ダニエル・デネッケ氏、文部科学省大学改革推進室長樋口聡氏を招聘し、日米両国の大学院博士課程教育の今後について議論する機会を設けることに致しました。

大学院教育にかかわる教員、学長など管理者、関連省庁の政策担当者、企業の方々が広く御参集することをお願いします。

参加申込み方法
TO APPLY

Web からお申込みいただけます。※行事カレンダーからお進みください。
Access the "Registration Form" through the site below.

<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

東北大学高等教育開発推進センター

検索

※web 申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先 (e-mail) を明記の上、
pffp_office@he.tohoku.ac.jp までお申込みください。

お問い合わせ先
CONTACT

東北大学高等教育開発推進センター / 大学教育支援センター
CAHE/Center for Professional Development

TEL.022-795-4471 Email.pffp_office@he.tohoku.ac.jp